



平成 28 年 6 月 27 日

各 位

上場会社名 T O W A 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡田 博和  
(コード番号 6315 東証第一部)  
問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長  
蒲生 喜代重  
TEL (075) 692 - 0251

## (台湾) 財団法人金属工業研究開発センターとの業務提携について

当社は、「TOWA 10 年ビジョン」を長期経営戦略に掲げ、既存事業の更なる拡大とコア技術を活かした新しい市場の開拓に取り組んでいます。このたび、当社が新たな事業の一つとして展開している「CBNエンドミル」が、台湾の国立の研究機関である「財団法人金属工業研究開発センター」(以後、MIRDC)での金属加工の応用研究開発のツールに採用されることとなり、同センターと業務提携契約を締結いたしましたので下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. MIRDCについて

MIRDCは、金属及び金属加工技術の関連工業の成長・発展を目指し設立され、各プロジェクトにおける研究成果を台湾内外に発信し、その普及促進にも取り組んでいます。近年は目覚しく発展している金属科学技術の研究開発・応用サービスを台湾内企業に提供し、同国内産業の価値創造増進に大きく貢献しており、台湾における金属工業分野の権威といえる地位を有しています。

#### 概要

- (1) 所在地：台湾高雄市
- (2) 代表者：董事長 蔡明祺
- (3) 設立年月：1963年10月
- (4) 所属研究員：583名
- (5) U R L：<http://www.mirdc.org.tw/japanese/>

#### 2. 業務提携内容

##### (1) 台湾ユーザーを想定したツールの応用開拓

台湾ユーザーを想定し、当社の主力製品となるCBNツール(エンドミル等)に対して、その応用開拓について協力します。当社ツール使用時の最適加工条件や加工方法等に関する情報をMIRDCと共に台湾ユーザーと共有し、同ツールのさらなる普及・浸透を図ると共に、金属製品製造プロセスでの技術開拓に繋がります。

(2)超精密加工技術の応用研究

当社製品により実現できる精密加工と台湾企業のニーズを、MIRDCの仲介によりマッチングさせ、台湾企業の金属加工技術発展に寄与すると共に、台湾工具市場における当社シェアアップを図ります。

3. 業務提携契約締結日

2016年6月27日

4. 今後の見通し

当社の自社製CBNエンドミルサンプルをMIRDCに供給していくことで、金属加工プロセスの研究開発から得られる当該CBNエンドミルの最適加工データや性能優位性が、同センターの広報媒体によって台湾国内に発信されることとなります。今般の業務提携により、台湾国内の金属加工技術発展に寄与すると共に、台湾地域における「TOWAブランド」浸透を図り事業を拡大して参ります。

以上